



ズームと使い勝手で選ぶ

デジタルカメラ 購入ガイド

デジタルカメラの画素数はこの1年で約4倍にアップした。35万画素モデルは徐々に店頭から姿を消し、81万画素以上の高画質モデルが主力となっている。画素数が増えたことでプリント画質も格段に向上し、サービスサイズの大きさなら写真として十分通用するようにもなってきた。また、98年下半期のデジカメはズームコンパクトがトレンドで、ようやく銀塩コンパクトの代替品として通用しそうな製品も登場してきた。そこで、今回はズームコンパクトタイプのデジタルカメラに焦点を絞り、各機種の特徴と選び方のポイントを紹介しよう。

執筆 / サンプル画像撮影 伊達淳一

Product Showcase

これからはズーム付きが常識だ！

今までのデジタルカメラで最大の不満は、コンパクトなズーム機がほとんどなかったことだ。ビデオでも銀塩コンパクトでもズーム付きが当たり前で、驚くほど小型軽量化が進んでいる。一方、デジタルカメラはこれまでズーム機がなかったわけではないが、銀塩コンパクトカメラに比べるとボディサイズが大きく、しかも高価だった。

しかし、この秋から冬にかけて発売されたデジカメは銀塩ズームコンパクトと同じように、電源のON/OFFに連動してレンズが伸縮する沈胴式ズームレンズを採用したものが増え、

ボディサイズもそれなりに小さくなってきた。

ズーム付きなら、近くに寄れない被写体でもアップで写せるし、より自然な遠近感で写すことができる。ズームがあれば今までと違った写真が撮れるのだ。

そこで、現在発売されているデジタルカメラの中から人気のズームコンパクトタイプをピックアップし、購入の際のポイントや各機種の特徴をまとめてみた。実写サンプルデータもCD-ROMに収録したので、ぜひ最新機種の画質を自分の目で確かめ、購入の参考にしてほしい。

Let's Access!



付録CD-ROMに サンプルデータを収録

今回取り上げた12機種の実写サンプルデータを付録CD-ROMに収録した。ズームの画角チェック、肌色階調再現チェック、晴天昼光下における色再現チェック、カラーチャートによる色再現チェック、マクロ撮影能力チェック、夜景撮影テストの6種類のテストを行っている。最近のデジタルカメラは画素数も多く、パソコンのモニター画面で見るとはオーバースペックなので、ぜひカラープリンターでプリントするなどして、その実力を実感してみてほしい。サンプルデータを見るには、CD-ROM内の「INDEX.HTM」をWWWブラウザで開き、トップメニューの「2」をクリックすればOKだ。

もう画素数だけでは決められない! デジタルカメラ選びのチェックポイント

これまではCCDの画素数がデジタルカメラ選びの最大のポイントと言っても過言ではなかった。確かに画素数が多ければ、大きくプリントすることができる。しかし、130万画素以上のデジタルカメラならキャビネサイズに引き伸ばしても写真として十分通用するクオリティーを備えているし、すでにパソコンのモニターに表示するにはオーバースペックだ。したがって、これからのデジタルカメラ選びは画素数だけでなく、次のようなポイントをチェックしよう。

Point 1

ズームの焦点距離域をチェックしよう

これからデジタルカメラを買うなら、ズーム付きがおすすめだ。ズームなら近くに寄れない被写体もアップで写せるし、遠近感も自然だ。ズームレバーの操作ひとつで、広角、標準、中望遠とさまざまに画角が変わるので、それだけ写真表現の幅も広がる。

ところで、同じズームでも機種によってカバーする焦点距離の幅は微妙に違う。もっとも多いのは35mmから105mm相当の3倍ズームだが、キヤノンの「PowerShot A5 ZOOM」のように広角側にシフトした28mmから70mm相当の2.5倍ズームや、京セラの「SAMURAI 1300DG」のように望遠側にシフトした45mmから135mm相当の3倍ズームを装備した機種もある。室内や建物の撮影には広角にシフトしていたほうが便利だが、近くに寄れない被写体をアップで写すには望遠に寄っているほうが有利だ。ただ、ズームになると最短撮影距離が80センチメートル前後になり、被写体に近づけなくなる機種もある。

定位置から広角で撮影



広角レンズは望遠レンズよりも遠近感が強調されるので、望遠レンズは背景がすぐ後ろに迫ってくるように写るのに対し、広角は背景が遠く離れて写る。

定位置から望遠で撮影



望遠と同じ大きさに写るように被写体に近づいて広角で撮影



Point 2

携帯性をチェックしよう

どんなに画質のいいデジタルカメラでも、撮りたいときに手元になければ宝の持ち腐れだ。しかし、ズーム機にするとレンズ光学系が大きくなるので、どうしてもボディサイズも大きくなってしまふ。ズームと携帯性は相反する条件なのだ。

背広の内ポケットに入るほどスリムでコンパクトなデジタルカメラは、ズーム付きではごくわずかだが、銀塩コンパクトカメラと同じような沈胴式ズームレンズを採用する機種が増えて

きた。背広の内ポケットは無理でもカバンの中なら常時携帯しても苦にならないサイズのものも多い。

ただ、いくらコンパクトでスリムでも、キヤノンの「PowerShot A5 Zoom」のように専用の充電電池しか使えなかったり、リコーの「DC-4U」やカシオ計算機の「QV-7000SX」のように光学ファインダーが省かれたりした機種もあるので、こうした要素も加味したうえで携帯性とのバランスを考えて選ばふ。



富士写真フィルムのFinePix600Z(上)とキヤノンのPowerShot A5 Zoom(下)の大きさはこんなに違う。



Point
3

光学ファインダーの有無をチェックしよう

最近のデジタルカメラはすべて液晶モニター付きだ。しかし、液晶モニターは晴天の屋外では見にくいし、バッテリーの消耗も激しくなる。

それに、液晶モニターを使った撮影では、両手を前に伸ばした格好になるので、カメラのホールドリングが不安定になりやすい。特に、ズームの望遠側は手ぶれしやすいため、液晶モニターよりも光学ファインダーを使って撮影したほうが確実だ。したがって、液晶モニターだけでなく光学ファインダーも備えている機種が理想的だ。



両手を前に伸ばした格好で撮影すると手ぶれしやすい。



光学ファインダーを使えば手ぶれしにくい。

Point
4

レスポンスの軽快さをチェックしよう

デジタルカメラのスペックでつい見逃しがちなのがレスポンスだ。電源を入れてから撮影が可能になるまでの時間やオートフォーカスの合焦スピード、メモリーカードへの記録時間、液

晶モニターのプレビューレート(1秒間の表示コマ数)など、いずれもレスポンスが高速な機種のほうがシャッターチャンスに強く、動き回る子どもやペットなどのスナップに向いている。

しかし、こうしたスペックは、カタログにはほとんど掲載されていないので、購入前に店頭にあるデモ機で実際に各種のレスポンスをチェックすることが大切だ。

Point
5

記録メディアやバッテリーをチェックしよう

記録メディアとしては、スマートメディアとCF(コンパクトフラッシュ)が主流だ。最大容量ではCFが優位で、すでにアドテックから64Mバイトの製品が発売されている。一方、スマートメディアは現在16Mバイトが最大で、32Mバイトカードの発売日程はまだ未定だ。ただ、スマートメディアは単価が安く、CFよりも割安感がある。フラッシュバスと呼ばれるアダプターを使って、3.5インチFDD

でデータを読み書きできるのもスマートメディアならではのメリットだ。

また、デジタルカメラによっては専用充電電池を採用している機種もあるが、電池切れになってしまえば対処のしようがない。そのため、汎用の単3電池を使用するタイプのほうが安心感はある。ただし、アルカリ電池は非常に持ちが悪いので、普段はニッケル水素充電電池を使うようにしよう。



ニッケル水素充電電池が4本セットになった充電器セットは5,000円くらいで売られている。

Point
6

その機種ならではの機能をチェックしよう

ほかの機種にはない特別な機能を備えているデジタルカメラがある。たとえば、エプソンの「CP-700Z」は、感度を2倍、4倍に増感して撮影することができるし、サンヨーの「DSC-SX1Z」は4秒間のボイスメモ機能がある。ま

た、3.5インチフロッピーディスクに記録するソニーの「MVC-FD81」はボイスメモだけでなく、MPEG形式の動画も撮影できる。カシオの「QV-7000SX」はレンズ部分が回転してパノラマ撮影や簡易ながら動画を撮影する機能

を搭載している。ニコンの「COOLPIX910」はワイドコンバーターやフィッシュアイコンバーターがオプションとして用意されていて、専用外部ストロボが使えるなどの特徴がある。基本機能をチェックしたら、これらの機能にも注目しよう。



ズームコンパクトタイプの デジタルカメラ最新カタログ

これまで解説してきたデジタルカメラの選び方を参考にしよう。実際に撮影したサンプル写真を見て自分の好みに合った製品を選ぼう。CD-ROMにはサンプル画像データを6種類ずつ収録してあるので、こちらもぜひチェックしてほしい。

CD-ROMに収録した サンプル画像の見方

今回の記事で取り上げた12機種の実写サンプルを、誌面には以下のテストの①と②の2種類を、CD-ROMには①から⑥までのすべてを収録してある。CD-ROMのデータは、各機種とも無圧縮を除く最高画質モードに設定し、オートで撮影している。

①ズームの画角チェック

ズームレンズの広角端と望遠端で撮影。各機種の画角差をチェックしよう。また、ズームによる露出レベルやホワイトバランスの変動があるのかもチェックポイントだ。

②肌色階調再現チェック

階調再現特性をチェックするため、わざと斜光線の状態で撮影している。直射日光の当た

っているほっぺたや鼻の頭が白飛びしていないか、ハイライトからシャドーにかけてなめらかに階調が変化しているかをチェックしよう。

③晴天日光下における色再現チェック

カメラとモデルの位置は固定し、各機種の広角端で撮影している。カラーチャートの色および肌色、赤い服、背景の青空や木立の描写をチェックしよう。

④カラーチャートによる色再現チェック

色温度が低く光の色が少々黄色っぽくなっている)状態での色再現テスト。光の黄色っぽさをそのまま出すか、補正してニュートラルにするか、オートホワイトバランスの味付けが分かる。各機種とも広角端で撮影しており、画面下のレンガを見れば歪曲収差がチェックできる。また、カラーチャートだけでなく清



涼飲料缶の細かな文字の描写も要チェックだ。

⑤マクロ撮影能力チェック

各機種の最短撮影距離で撮影。どのくらい被写体をアップで撮影できるかをチェックしてみた。また、後ろの人形との距離は10センチメートル離れており、被写界深度(ピントが合う範囲)の深さをチェックしてほしい。なお、照明光源として写真撮影用のブルーランプを使用している。

⑥夜景撮影テスト

三脚を使ってどこまで夜景を撮影できるかをテストしてみた。高感度モードや夜景モードを搭載している機種に関しては、そのモードを使用している。低照度でのAF能力、高輝度の光源の描写、ノイズ、ホワイトバランスの特性などを見てほしい。

銀塩コンパクトズームのスタイリングと軽快な操作が魅力

CAMEDIA C-900 ZOOM



CAMEDIAシリーズならではの軽快なレスポンス。撮影中に液晶モニターON/OFFボタンを2回押すと、再生モードになるショートカットも便利。



背面の操作ボタンは煩雑。特にファンクション()ボタンの意味は取扱説明書を読まないと分からない。

スタイリッシュなボディとレンズバリアを開けたら3秒で撮影可能になるという軽快なレスポンスが魅力だ。レンズユニットの後ろに液晶モニターが配置されているので、ボディは厚みがあるが、グリップ部がギュッと引き締まっているために意外とスマートに見える。液晶モニターは非常に明るく、屋外での視認性も抜群だ。

CCDは131万画素で、補色系フィルター独特の色のクセはあるものの、コンパクトカメラタイプのデジタルカメラとしてはトップクラスの描写力だ。1/2段ステップ±2段の露出補正や4種類のプリセットホワイトバランス、スポット測光、3倍クローズアップ再生機能なども搭載している。特に大きな欠点も見あたらない優等生モデルだ。

メーカー名 : オリンパス光学工業(株)
価格 : 89,800円
CCD : 1/2.7インチ131万画素補色CCD
ズーム : 35mm - 105mm相当
記録メディア : スマートメディア



フィッシュアイなどオプションレンズも充実

COOLPIX 910

メーカー名 : (株)ニコン
価格 : 99,800円
CCD : 1/2.7インチ 130万画素補色CCD
ズーム : 35mm - 105mm相当
記録メディア : CF



ニコンのブランドイメージに恥じない極めて高い光学性能を誇る回転式3倍ズームレンズ。



標準設定ではやや白飛びしやすい階調特性。コントラスト(-)設定である程度は回避可能だ。

COOLPIX900の後継機で、露出補正やパワーオフの設定がより細かく指定できるようにメニューが見直されたほか、専用外部ストロブ用の接点が追加されたのが主な改良点だ。

レンズ部分が回転するので自分撮りはもちろん、ローアングルやハイアングルの撮影も楽にこなすことができる。レンズ性能にとことんこだわったニッコールレンズを搭載しており、そ

のシャープな描写力はさすがニコンとうなされる。

また、オプションで24mmワイドコンバージョンレンズや183度フィッシュアイコンバーターが用意されており、特に、別売のフィッシュアイコンバーターを使うと、前後2カット撮影するだけで360度フルパノラマ(IPIX)が作成できるのは魅力だ。

最強のスペックとコストパフォーマンスを誇る3倍ズーム機

カラリオ・フォト CP-700Z

メーカー名 : セイコーエプソン(株)
価格 : 89,800円
CCD : 1/2.7インチ 130万画素補色CCD
ズーム : 34mm - 102mm相当
記録メディア : 内蔵メモリー(4Mバイト)+ CF(オプション)



ISO360相当の高感度モードやワンプッシュホワイトバランスなど、上級者も納得の機能が満載。



200万画素出力の「Hypictモード」は魅力だが、1枚撮影すると約20秒近く待たされる。ポディーサイズが少々大きく、携帯性が悪い。

ちょっと肥満気味のポディーだが、スペックでは最強の3倍ズームコンパクトだ。

130万画素の画像をカメラ内部で200万画素に補間する「Hypictモード」を搭載。JPEG圧縮前に拡大補間を行っているため画質劣化を最小限に抑えられ、その割にファイルサイズが増大しないのが特徴だ。また、スローシンクロナイズメント、ホワイトバランスのマニュアル

セット、ISO90/180/360と感度が変わるなど実用的な機能を備えているのも魅力。デジタルカメラのプリントオーダー機能にもいち早く対応している。

液晶モニターはバックライトと採光式の2つで、バックライトの輝度は少々暗めだが、太陽が比較的高い位置にあるときは太陽光をバックライト代わりに利用できる。

Product Showcase



鮮やかで深みのある色と階調が魅力

DC260 Zoom



色の美しさと階調のなめらかさは普及型デジタルカメラの中ではトップ。CFを利用してファームウェアの更新が可能。



液晶モニターのリアルタイムプレビューが非常に遅く、光学ファインダーでの撮影が実用的。

少々大柄なボディーだが、手に持ってみると意外とホールディングしやすい。Digita(デジタ)と呼ばれるデジタルカメラ専用のOSを搭載して、スクリプトを記述することでDC260 Zoomの機能をコントロールしたり、設定をカスタマイズしたりできる。

電源を入れてから起動するまでに14秒近くかかり、液晶モニターのプレビュー表示も非

常にぎこちないが、色と階調がとてもきれいでレタッチしなくてもきれいな絵を撮影できるのが魅力だ。

また、最長16秒の長時間露出や外部ストロボ同調機能、45秒のボイスメモ、インターバルタイマー撮影機能なども搭載しており、カメラの機能を駆使しておもしろい写真を撮りたいという人にはピッタリのデジタルカメラだ。

メーカー名 : コダック(株)
価格 : 128,000円
CCD : 1/2インチ160万画素原色CCD
ズーム : 38mm ~ 115mm相当
記録メディア : CF

自分撮りやマクロ撮影に強くポケットに入る3倍ズームコンパクト

DC-4U



130万画素クラスのズーム機としては非常にコンパクト。マクロ撮影にも非常に強い。



光学ファインダーがないので、手ぶれに注意が必要。ズームスピードもちょっと遅い。

130万画素クラスの3倍ズーム機としてはコンパクトで、背広の内ポケットにも余裕で入る。レンズ部が回転するのでローアングル撮影や自分撮りにも威力を発揮する。

マクロにも強く、望遠側で約8センチメートルまで近寄ることができ、切手サイズの被写体を画面いっぱい写せる。また、電源を切った際に、カメラの各種の設定を保持するが否か

を項目ごとに細かく設定できるのは非常に便利だ。ただし、光学ファインダーがなく、晴天の屋外ではほとんど液晶モニターが見えなくなるのが弱点。また、望遠側では手ぶれに注意する必要がある。

従来のDC-4やDC-4Tに比べて階調再現は軟らかくなってはいるが、それでもほかの機種に比べるとコントラストは高めた。

メーカー名 : (株)リコー
価格 : 84,800円
CCD : 1/2.7インチ132万画素原色CCD
ズーム : 35mm ~ 105mm相当
記録メディア : スマートメディア



3.5インチフロッピー記録で音声メモやMPEG動画も撮影できる

DigitalMavica MVC-FD81

メーカー名 : ソニー(株)
価格 : 99,800円
CCD : 1/3インチ85万画素原色CCD
ズーム : 37mm ~ 111mm相当
記録メディア : 3.5インチフロッピーディスク



3.5インチフロッピーディスクに記録するので、パソコンへのデータ転送が簡単。バッテリーの持ちもいい。



FINEモードでは6枚から10枚程度しか撮影できない。

3.5インチFDが記録メディアのデジタルカメラで、静止画だけでなく音声メモやMPEG形式の動画も撮影できる異色の存在だ。

フロッピーディスクなのでパソコンへのデータ転送が誰でも簡単に行き、しかも単価が安く、コンビニなどでも入手できるのが魅力。反面、ボディサイズが大きく、最高画質で撮影した場合は6枚から10枚程度しか撮影できな

いという弱点も持つ。

原色フィルター採用のCCDのため、明るく華やかな色再現が特長。マクロにも強く、広角端ではレンズ直前までピントが合う。

液晶モニターは屋外でも明るく見やすい12.5型の採光式。電源はインフォリチウムバッテリーで、3時間の撮影が可能。しかも、バッテリー残量が分単位で表示される。

レンズユニットが着脱可能でワイドレンズユニットに付け替え可能

Dimage EX ZOOM 1500

メーカー名 : ミノルタ(株)
価格 : 128,000円
CCD : 1/2インチ150万画素原色CCD
ズーム : 38mm ~ 115mm相当
記録メディア : CF



レンズユニットを外してエクステンションケーブルでつなげば、奇想天外なアングルからの撮影が可能。



液晶モニターをONにしないと、カメラのステータスが分からない。また、操作ボタンもちょっと押しづらい。

Dimage搭載のデジタルカメラで、前回のDC260 Zoomよりも高速なCPUを採用することでレスポンスの向上に成功している。液晶モニターのプレビューはぎこちないものの、メモリーカードへの記録スピードは軽快だ。

シーン別に最適設定で撮影できる5種類のデジタルシーンセクターを搭載。原色フィルターならではの非常にピュアで鮮やかな色再

現特徴だが、シーンによってはホワイトバランスが適切でなく、やや黄色っぽさが目立つ場合もあるのが惜しい。

最大の特徴は、別売のエクステンションケーブルを使ってレンズ部を本体から切り離して撮影できることだ。また、28mm相当のワイドレンズユニット(62,000円)に付け替えることもできる。



堅牢性に富んだマグネシウム合金ボディ採用

マルチース DSC-SX1Z



「Hypict モード」はカメラ内で補間処理を行うため記録し終わるまでに20秒近くかかるが、こちらはパソコンで補間処理を行うため撮影時に特別な操作は不要だ。

1/2段ステップ±1.5段の露出補正や、2段階の絞り優先AE機能、プリセットおよびワンプッシュオートホワイトバランスなど、マニュアル機能も充実している。



別売の接続キットで200万画素に補間拡大可能。ボディも堅牢なマグネシウム合金製だ。



ズームレバーの形状が悪く、指あたりが悪い。液晶モニターのパックライトは少々暗めだ。

採光式液晶モニターなので少々ボディが厚くなっているが、マグネシウム合金ダイキャストなので非常に堅牢性が高い。

また、別売のパソコン接続キットに付属のユーティリティソフト「Agfe Photo Genie」を使ってJPEG特有の粒状ノイズや圧縮ノイズを低減しつつ、200万画素に補間拡大することが可能だ。エプソンの「CP-700Z」の

FinePixシリーズならではの誇張のない素直な描写が魅力

FinePix600Z



電源は専用リチウムイオンバッテリーなので、できるなら予備バッテリーを用意しておきたい。メニューで絞りをF3.8とF7.6の2段階に切り替えられるほか、スレブ機能を持つ外部ストロボと同調させ、複数のストロボを使って撮影できる。また、FinePix700の美肌モードに代わってソフトフォーカスやクロスなど3種類のフィルター機能が搭載されている。



FinePixシリーズらしい誇張のない自然な色と豊かな階調再現性。ストロボ単独の露出補正も可能だ。



屋外では液晶モニターがほとんど見えないので、カメラのステータスを確認しづらい。

自然な色再現となめらかな階調再現で、鮮烈さはないものの素材性の高い絵づくりだ。オートホワイトバランス搭載で、FinePix700よりも色カブリは少ないようだ。

背面操作部は従来のFinePixシリーズとほぼ共通だが、メニューボタンの横にセットボタンが追加され、このセットボタンでストロボや画質、マクロモードを変更できる。

メーカー名 : 富士写真フイルム(株)
価格 : 94,800円
CCD : 1/2インチ150万画素原色CCD
ズーム : 35mm - 105mm相当
記録メディア : スマートメディア



携帯性とデザインの良さが魅力

PowerShot A5 Zoom



メーカー名 : キヤノン販売(株)
価格 : 84,800円
CCD : 1/3インチ81万画素補色CCD
ズーム : 28mm ~ 70mm相当
記録メディア : CF



高級コンパクトカメラの風格を持ったフルメタルボディと28mmをカバーする2.5倍沈胴式ズーム。



81万画素補色CCDということで、やや地味な色再現。メニューの操作性もいまひとつ。

フルメタルボディの高級感漂うデジタルカメラ。電源を入れるとレンズバリアが自動で開き、沈胴式ズームレンズがせり出してくるギミックは感動ものだ。ズームは28mmと広角域をカバーする2.5倍ズームで、AFの合焦スピードは少々遅めだがピント精度はなかなかのもの。AF補助光を照射するので、暗所でもピント合わせが可能だ。

81万画素なのでそれほど高精細な描写は望めないが、夜景モードやプリセットホワイトバランスを搭載しているのも、それなりの表現力は備えている。パノラマ撮影モードではつなぎ目を確認しながら撮影できる。なお、電源として高価な2CR5タイプのリチウム電池を使用するので、必ず別売の電源キットと一緒に購入すべきだ。

カメラ内でパノラマや簡易動画が合成できる

QV-7000SX



メーカー : カシオ計算機(株)
価格 : 88,000円
CCD : 1/3インチ132万画素原色CCD
ズーム : 32mm ~ 64mm相当
記録メディア : CF



AFの合焦スピードが高速で、発色もクリア。再生時のコマ送りも非常に高速だ。



2倍ズームとしては少々大きめのボディ。マクロはプリセット式のマニュアルフォーカスだ。

従来の独自フォーマット(CAM形式)ではなく、汎用のJPEGフォーマットを初めて採用した130万画素モデルだ。

最長12.8秒までさかのぼって記録できるメモリー撮影や簡易動画、パノラマ撮影機能など、デジタルカメラならではの多彩な撮影モードを搭載。パノラマ撮影モードで撮影した画像はカメラ内で合成してスクロール再生でき

る。また、ダイヤルによるモード選択や洗練されたメニュー構成など、QVならではの使いやすさも魅力だ。

さらに、HTMLファイル作成機能を搭載していて、カメラ本体内で作成されたHTMLファイルをパソコンで開けば、サムネイルと絞りやシャッタースピードなどの詳細な撮影データが一覧表示される。

Product Showcase



ズーム全域でF2.8の明るいズームを搭載

SAMURAI1300 DG



注：SAMURAI1300 DGは、①と②から③のテスト撮影に手が間に合わなかったためデータが欠落しています。

メーカー名 : 京セラ(株)
価格 : 89,800円
CCD : 1/2.7インチ132万画素原色CCD
ズーム : 45mm ~ 135mm相当
記録メディア : CF



ほかの機種にはない強烈な個性を持ったフォルムと全域でF2.8と明るいズームレンズ。



最短撮影距離がマクロモードでも50センチメートルとはがきサイズまでしかアップで撮影できない。

強烈な個性を持った縦型フォルムのデジタルカメラ。45mmから135mmと少し望遠にシフトした3倍ズームを搭載していて、全域でF2.8の明るさを確保しているのが特長だ。

グリップストラップが付属していて、片手でも安定したホールドが可能。また、ズームレバーを押し込むとメニューに入れるので、カメラ操作も片手でOKだ。

ユニークなのはレンズ歪みの補正機能だ。ズームの広角側では画面周辺の直線が樽型に歪んで写ってしまうが、1300DGはカメラ内部でこの歪みをソフト的に補正する機能を備えている。

このほか、モノクロとセピアの2種類のカラーモードや、プリセットのホワイトバランス、1/4段ステップの露出補正も備えている。

高画質の一眼レフタイプとコストパフォーマンスの高い単焦点タイプも見逃せない!

今回はズームコンパクトタイプのみを取り上げたが、話題のデジタルカメラはまだたくさんある。ソニーのDigitalMavicaの最上位機種「MVC-FD91」は、14倍ズーム+光学式手ぶれ補正搭載で、ビデオカメラ並みの迫力ある望遠撮影ができる。オリンパスの「C-1400XL」やソニーの「Cyber-shot PRO」は一眼レフタイプのデジタルカメラで、レンズ交換こそできないものの、作品性の高い写真を撮影できる。また、キヤノンの「PowerShot Pro70」はビジネス向けのモデルで、シャッターボタンを押すだけのお手軽カンタンカメラながら、非常にシャープで高画質が得られる機種だ。さらに、単焦点モデルに目を向けると、ポケットサイズで1.5秒

の速写が可能な三洋電機の「SC-X100」やベストセラーを続けるフジの「FinePix700」、アッと驚く実売価格のエプソン「CP-600」など、予算と用途と好みによってさまざまな選択肢が存在する。いずれの機種も、従来の35万画素と比べれば圧倒的に高画質で、サービス判程度のプリントなら十分鑑賞に堪えられる。81万画素から85万画素と130万画素以上の違いが実感できるのはA5サイズ以上に伸ばしたときなので、大きく伸ばさないのであれば、さほどCCDの画素数にこだわらなくてもいい。付録CD-ROMにサンプル画像を収録したので、実際に手持ちのプリンターで出力してみても納得できる画質かどうかをぜひ自分の目で確かめてほしい。



A4サイズに伸ばしても鑑賞に十分堪えられる画質のオリンパスの「C-1400XL」(12,800円)



気軽に持って歩く手軽さが魅力の三洋電機の「SC-X100」(86,500円)



最新デジタルカメラスペック一覧

製品名	CAMEDIA C-900 ZOOM	COOLPIX910	カラリオ・フォト CP-700Z	DC260 Zoom	DC-4U	DigitalMavica MVC-FD81	
メーカー名	オリンパス光学工業(株)	(株)ニコン	セイコーエプソン(株)	コダック(株)	(株)リコー	ソニー(株)	
本体価格	89,800円	99,800円	89,800円	128,000円	84,800円	99,800円	
実売価格	約69,800円	約79,800円	約69,800円	約89,800円	約59,800円	約69,800円	
シリアル接続キット価格	12,000円	16,000円	本体付属	9,800円(Win用) 7,800円(Mac用)	本体付属	-	
PCカードアダプター価格	10,000円	2,500円	-	2,500円	10,000円	-	
FDアダプター価格	12,000円	-	-	-	12,000円	-	
ACアダプター価格	4,500円	5,400円	3,500円	4,500円	4,500円	-	
サイズ(W×H×D)	127×66.5×53	157×75×35	137.5×61.8×76.4	118×106×57	136.5×64×34	140.5×104.5×61	
重量	270g	360g	310g	525g	285g	540g	
撮像素子	CCDサイズ	1/2.7インチ	1/2.7インチ	1/2インチ	1/2.7インチ	1/3インチ	
	画素数	131万	130万	130万	160万	132万	85万
画像フォーマット	TIFF(Exif2.1)		JPEG(Exif2.0)	JPEG(Exif2.0) FlashPix	JPEG(Exif) 非圧縮	JPEG/MPEG1(最大60秒)	
記憶メディア	種類	スマートメディア	コンパクトフラッシュ	内蔵フラッシュメモリ、 コンパクトフラッシュ	コンパクトフラッシュ	スマートメディア	3.5型FDD
	標準添付品容量	8M	8M	4M(内蔵)	8M	2M	-
撮影枚数 (標準添付品使用時)	最高画質モード	2枚	12枚	3枚	14~50枚	3枚	6~8枚
	高画質モード	18枚	24枚	4枚	20~65枚	11枚	15~20枚
	標準モード	36枚	48枚	9枚	33~92枚	35枚	25~40枚
	エコノミーモード	122枚	-	31枚	-	-	-
レンズ	焦点距離 (35mm換算時相当)	35~105mm	38~115mm	34~102mm	38~115mm	35~105mm (デジタル2倍ズーム併用)	37~111mm
	絞り値	F: 2.8/8(広角) F: 4.4/12.6(望遠)	F: 2.4~3.6	F: 2.8/8	F: 3.0~4.7	F: 2.8~4.8	F: 2.0~2.1
フォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	
シャッタースピード	1/2~1/10000秒	1/4~1/750秒	1/2~1/750秒、 1/30~1/750秒 (ストロボ使用時)	1/2~1/400秒	1~1/500秒	1/60~1/4000秒	
露出制御	プログラム自動露出、 露出補正(±2EV)	プログラム自動露出、 露出補正(±2EV、1/2 EVステップ)	プログラム自動露出、 露出補正(±2EV、0.5 EVステップ)	プログラム自動露出、 露出補正(±2EV、0.5 EVステップ)	プログラム自動露出、 露出補正(±2EV、0.5 EVステップ)	プログラム自動露出、 露出補正(±1.5EV)	
ホワイトバランス	オート、固定(昼光、曇天、 白熱灯、蛍光灯)	オート、マニュアル	オート、固定(太陽光) マニュアル	オート、固定(屋外、蛍光灯、 白熱灯、オフ)	オート、固定(屋外、蛍光灯、 白熱灯、白黒、セピア)	オート	
感度	ISO100~200相当	ISO64相当	ISO90相当(ISO180、 ISO360の高感度モード 有り)	ISO100相当	ISO80~100相当	ISO100相当	
光学ファインダーの有無					x		
ストロボの有無							
液晶モニター	1.8インチTFTカラー	2インチTFTカラー	2インチTFTカラー	2インチカラー	1.8インチカラー	2.5インチカラー	
セルフタイマー	約12秒	約10秒	約10秒	約10秒	約10秒(インターバルモードあり)	約10秒	
電源	種類	単3形アルカリ乾電池、単3 形ニッケル電池、単3形ニッ ケル水素電池、単3形リチウ ム電池、ACアダプター	単3形アルカリ乾電池、単3 形ニッケル電池、単3形ニッ ケル水素電池、単3形リチウ ム電池、ACアダプター	単3形アルカリ乾電池、単3 形ニッケル電池、単3形ニッ ケル水素電池、単3形リチウ ム電池、ACアダプター	単3形アルカリ乾電池、 単3形ニッケル電池、 単3形ニッケル水素電池、 ACアダプター	単3形アルカリ乾電池、 単3形ニッケル電池、 単3形ニッケル水素電池、 ACアダプター	インフォリチウムバッテリー
	本数	4本	4本	4本	4本	4本	1本
パソコンへの接続方法	シリアルケーブル、 PCカードアダプター、 FDカードアダプター	シリアルケーブル、 PCカードアダプター	シリアルケーブル、 PCカードアダプター	シリアルケーブル、 USBケーブル、 PCカードアダプター、 赤外線通信(IrDA1.0)	シリアルケーブル、 PCカードアダプター、 FDカードアダプター	3.5型FDD	
付属画像編集ソフト		x		x	x	x	
付属品	スマートメディア(8M)、 ケース、ストラップ、 単3形アルカリ乾電池 4本	コンパクトフラッシュカード (8M)、ケース、ストラップ、 レンズキャップ、ビデオケーブル、 単3形アルカリ乾電池4本	PC接続キット、 ビデオケーブル、ケース、 ストラップ、レンズキャップ、 単3形アルカリ乾電池4本	コンパクトフラッシュ(8M) ビデオケーブル、ストラップ、 レンズキャップ、 単3形アルカリ乾電池4本	PC接続キット、スマートメ ディア(2MB)、ビデオケ ーブル、ケース、ストラップ、 単3形アルカリ乾電池4本	レンズキャップ	
問い合わせ先	0426-42-7499	03-3216-1010	042-585-8444	03-5644-5050	03-5763-2620	0564-62-4979	
URL	http://www.olympus.co.jp/LineUp/Digicamera/c900z.html	http://www.nikon.co.jp/ei/	http://www.i-love-epson.co.jp/products/category/camera/	http://www.kodak.co.jp/digital/9d4100f1.shtml	http://www.ricoh.co.jp/dcl/product/dc4u/	http://www.sony.co.jp/ProductsPark/Consumer/DSC/Mavica/	

Product Showcase

各記憶メディアの実勢価格表

コンパクトフラッシュ(アイ・オー・データ機器)

品名	容量	価格	実売価格
PCCF-4M	4Mバイト	11,000円	-
PCCF-10M	10Mバイト	13,000円	9,400円
PCCF-15M	15Mバイト	15,500円	10,800円
PCCF-20M	20Mバイト	20,000円	14,800円
PCCF-A30M	30Mバイト	27,000円	19,600円
PCCF-40M	40Mバイト	35,000円	26,800円
PCCF-48M	48Mバイト	41,000円	31,800円



CFはすでにアドテックから64Mバイト(オープンブライズ)のものまで発売されていて、さらに大容量の96Mバイトや160Mバイトのものも発表されている。



Dimage EX ZOOM 1500	マルチーズ DSC-SX1Z	FinePix600Z	PowerShot A5 Zoom	QV-7000SX	SAMURAI1300 DG	製品名
ミルタ(株)	三洋電機(株)	富士写真フイルム(株)	キヤノン販売(株)	カシオ計算機(株)	京セラ(株)	メーカー名
128,000円	89,800円	94,800円	84,800円 (バリューキット価格)	88,000円	89,800円	本体価格
約99,800円	約69,800円	約69,800円	約59,800円	約59,800円	-	実売価格
12,000円	11,000円	7,000円	本体付属	4,800円	3,500円(画像編集ソフト付きは10,000円)	シリアル接続キット価格
2,500円	-	10,000円	3,500円	2,500円	-	PCカードアダプター価格
-	12,000円	12,000円	-	-	-	フラッシュバス価格
4,500円	4,000円	本体付属	4,500円	4,000円	6,500円	ACアダプター価格
127.5 x 67.5 x 58.5	128 x 70.5 x 55	122 x 85 x 60	103 x 68 x 37.3	140.5 x 75 x 52.5	57 x 91 x 121	サイズ(W x H x D)
310g	300g	330g	260g	280g	300g	重量
1/2.1インチ	1/2.7インチ	1/2.1インチ	1/3インチ	1/3インチ	1/2.7インチ	CCDサイズ
150万	131万	150万	81万	132万	132万	画素数
JPEG(Exif2.0)	JPEG(Exif2.1)	JPEG(Exif2.1)	CIFF	JPEG	JPEG	画像フォーマット
コンパクトフラッシュ	スマートメディア	スマートメディア	コンパクトフラッシュ	コンパクトフラッシュ	コンパクトフラッシュ	種類
4M	4M	2M	8M	8M	8M	標準添付品容量
2枚	9枚	2枚~12枚	44枚	14枚	9枚	最高画質モード
7枚	18枚	5枚~22枚	89枚	19枚	40枚	高画質モード
20枚	60枚	11枚~39枚	-	33枚	120枚	標準モード
40枚	-	-	-	55枚	276枚	エコノミーモード
38~115mm	34~102mm相当	35~105mm	28~70mm	32~64mm	45~135mm	焦点距離 (35mm換算時相当)
F: 3.5/5.6	F: 2.8/4.7	F: 3.8~5.5	F: 2.6~11(広角) F: 4.0~11(望遠)	F2.8~F14	F: 2.8	絞り値
オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	オートフォーカス	フォーカス
2~1/4000秒	1/30~1/750秒、 1/2~1/750秒 (ストロボ未使用時)	1/4~1/1000秒	1/6~1/750秒	1/4~1/1000秒 (夜景モード時 1~1/1000秒)	1/8~1/1000秒	シャッタースピード
プログラム自動露出、 露出補正(±2EV、 1/3EVステップ)	プログラム自動露出、 露出補正(7段階)	プログラム自動露出、 露出補正(絞り優先 AE選択可能)	プログラム自動露出	プログラム絞り優先自動 露出、露出補正(±2EV、 1/4EVステップ)	プログラム自動露出、 露出補正(±1EV、0.25 ステップ)	露出制御
オート、固定(太陽光、 タングステン、蛍光灯)	オート、マニュアル (サンプリングモードあり)	オート、 固定(6段切り替え)	オート	オート、固定(4モード)、 マニュアル	オート、固定(デイトラ、 タングステン、カラー、 セピア、白黒)	ホワイトバランス
ISO125相当	ISO90相当	ISO100相当	Largeモード時はISO100 (低輝度時はISO140) Smallモード時はISO200 (低輝度時はISO400)	ISO100相当	ISO75相当	感度
				x		光学ファインダーの有無
						ストロボの有無
2インチTFTカラー	2インチTFTカラー	1.8インチカラー-D-TFD7万画素	2インチTFTカラー	2.5インチHAST	1.8インチTFTカラー	液晶モニター
約10秒	約10秒	約10秒	約10秒	約10秒、2秒	約10秒	セルフタイマー
単3形アルカリ乾電池、 単3形ニッケル電池、 単3形ニッケル水素電池、 ACアダプター	単3形アルカリ乾電池、 単3形ニッケル電池、 単3形ニッケル水素電池、 ACアダプター	充電式リチウムイオンバッテ リ、ACアダプター	リチウム電池(2CR5)、 充電式NiMH電池、 ACアダプター	単3形アルカリ乾電池、 単3形リチウム電池、 単3形ニッケル水素電池、 ACアダプター	単3形アルカリ乾電池、単3 形ニッケル電池、単3形ニ ッケル水素電池、単3形リチ ウム電池、ACアダプター	種類
4本	4本	1本	1本	4本	4本	本数
シリアルケーブル、 PCカードアダプター	シリアルケーブル、 PCカードアダプター、 FDカードアダプター	シリアルケーブル、 PCカードアダプター、 FDカードアダプター	シリアルケーブル、 PCカードアダプター	シリアルケーブル、 赤外線通信 (IrDA1.1準拠 IrTran-P対応)、 PCカードアダプター	シリアルケーブル、 PCカードアダプター	パソコンへの接続方法
x	x	x			x	付属画像編集ソフト
コンパクトフラッシュカード (4M)、ケース、ストラップ、 ビデオケーブル、単3形アル カリ乾電池4本	スマートメディア(4M)ビデオ ケーブル、ケース、ストラ ップ、単3形アルカリ乾電池4本	スマートメディア(2MB)ビデオ ケーブル、レンズカバー、ス トラップ、充電式リチウムイ オンバッテリー、ACアダプター	PC接続キット、 コンパクトフラッシュ(8M) ビデオケーブル、ストラップ、 リチウム電池	QVソフトCD-ROM、コンパ クトフラッシュ(8M)ビデオ ケーブル、ストラップ、ケース、 単3形アルカリ乾電池4本	コンパクトフラッシュ(8M) ビデオケーブル、グリップス トラップ、ハンドストラップ、 単3形アルカリ乾電池4本	付属品
03-5423-7555	0720-70-4184	03-3406-2981	043-211-9556	03-5334-4828	03-3708-3114	問い合わせ先
http://www.minolta.com/japan/press98/dp/dimageej.html	http://www.sanyo.co.jp/AV/DSC/	http://www.fujifilm.co.jp/fx600z/	http://www.canon-sales.co.jp/Product/PowerShot/ps-a5zoom.html	http://www.casio.co.jp/QV-Magazine/Info/qv_7000sx/	http://www.kyocera.co.jp/index-j.html	URL

実売価格は12月7日現在のものです。
各項目は変更になることがありますので、購入の際にご確認ください。

スマートメディア

品名	容量	価格	実売価格
RFD-4M	4Mバイト	3,500円	-
RFD-8M	8Mバイト	4,800円	4,100円
RFD-16M	16Mバイト	9,800円	7,500円

PCカードアダプター(メルコ)

品名	対応記憶メディア	価格	実売価格
RCF-A	コンパクトフラッシュ	2,000円	-
RFD-A	スマートメディア	7,800円	6,500円



スマートメディアはCFより単価
が安い。特に容量の8Mバイト
のものはCFより割安感がある。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp